

# 高梁2025 “地域医療はまちづくり”

「高梁2025」は、持続可能な地域医療体制の構築に向けた取り組みの総称です。

## 令和6年4月から「医師の働き方改革」が始まります

「医師の働き方改革」は、医師が健康に働き続けられる環境を整備することで、患者さんに提供する医療の質・安全を確保し、将来にわたり持続可能な医療提供体制を維持していくための取り組みで、令和6年4月から医師の時間外労働に上限を設ける制度がスタートします。

医師の働き方改革を進めて、将来世代へ地域医療をつないでいくため、一人一人が上手に医療を受けることを心掛けましょう。

### 皆さんが協力できること

#### 平日の診療時間内に受診しましょう！

「平日の昼に行く時間がないから」と診療時間外に受診する「コンビニ受診」はやめましょう。日頃から医療機関の診療時間を意識し、決められた診療時間内での受診に努めましょう。

#### 近くの医療機関を受診しましょう！

医療機関は機能に応じて提供する医療の役割分担をしています。「大きな医療機関の方が安心だから」と軽症の患者さんが大きな医療機関(病院など)に集中すると、医師・医療従事者の負担を増やすだけでなく、救命が必要な重症患者さんの治療に支障がでる恐れがあります。

#### かかりつけ医を見つけましょう！

診療科ごとに自分が信頼できると思った先生をかかりつけ医と呼んでかまいません。まずは、身近で日頃から何でも相談できる「かかりつけ医」を見つけておきましょう。

☎地域医療連携課 ☎ 21-0304

市ウェブサイト「高梁2025～地域医療の高梁モデル構築に向けた100の検討とアクション～」にこれまでの議論の内容などを掲載しています。



## 健康づくり応援通信

☎健康づくり課 ☎ 21-0228



市公式 Youtube  
体操などのコンテンツを視聴できます

### 予防接種の目的とは？

病原体に対する免疫をつくることで発症を抑えたり、かかっても症状を軽くしたりすることです。また、本人が免疫を獲得するだけでなく、周りの人々や次の世代での感染症を防ぐ効果もあります。

### 定期接種と任意接種

**定期接種** 予防接種法により定められた予防接種で、国が積極的に接種を勧めているものです。接種対象年齢が定められており期間内であれば全額無料、または一部自己負担で受けることができます。

★接種対象年齢以外で接種をすると自己負担となりますので注意してください。

**任意接種** 希望者が受けるものです。費用は自己負担となり、料金は医療機関によって異なります。

#### HPVワクチンについて

子宮けいがんの主な原因は、HPV（ヒトパピローマウイルス）への感染です。HPVワクチンを接種することでウイルスへの感染を予防することができます。

#### 定期接種の対象者

- ①小学校6年生から高校1年生相当の女性
- ②平成9年度から平成19年度生まれの女性（令和7年3月までの特例措置）

#### 高齢者肺炎球菌ワクチンの特例措置終了について

令和2年度以降、「65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、または100歳となる日の属する年度の初日から当該年度末日までの間にある人」を対象とする定期接種の特例期間が令和6年3月31日に終了する見込みです。

#### 令和6年度以降の対象者（予定）

65歳および60歳以上65歳未満で、特定の疾患を有する人